

求む、消防団員！

宮崎県には、14,829人(平成27年4月1日現在)の消防団員が、それぞれの職業を持ちながら、火災・地震・風水害から住民の生命と財産を守るためがんばっています。あなたも、消防団員として活動しませんか？詳しくは、お住まいの市町村にお問い合わせください。

私にもできることがあったんだ。

はじめは、不安でいっぱいだった。
先輩たちの迅速な動きに圧倒された。
火事の恐ろしさを知った。
消火の大変さも感じた。
でも、規律や団体行動は
ためになった。
知り合いもどんどん増えていった。
凍えるような寒い夜。
先輩に「がんばれ」といわれた。
みんなに「ご苦労さま」といわれた。
迎えた伝統の出初式。
団の一員として、誇りを感じた。
不安はいつか、
やりがいに変わっていた。

都城市消防団
高城方面隊第3部
副団長
園田 和貴さん



消防団の1年

消防団では、有事に備えて日々訓練を行っています。その1年の動きをお伝えします。

4月 APRIL 消防団員入退団式



真新しい活動服に身を包んだ新入団員が集結します。

6月 JUNE 操法大会に向けた訓練



操法大会では迅速で規律ある動きが求められます。

7月 JULY 操法大会



県大会への出場をかけた操法大会。消防団の甲子園ともいわれます。

9月 SEPTEMBER 自治会などの訓練指導



避難訓練などで機材の取り扱いなどの指導を行います。

10月 OCTOBER 分団での訓練



救命処置の訓練などを行います。※年間を通じて訓練しています。

12月 DECEMBER 夜間特別警戒



夜間に地域を巡回して、火の用心を呼び掛けます。

1月 JANUARY 消防出初(始め)式



消防団員による行進や、消防車による一斉放水が行われます。



センパイ! INTERVIEW!!

地域のために力を尽くす消防団。その活動に
当たる団員の職業や年齢はさまざまです。ど
んな想いで活動しているのか、その本音に迫
ります。

もっと早く入団すれば良かったと 今でも後悔しています



国富町消防団
第一分団 第一部
見島 介さん 26才
(消防団歴7年)

高 校を卒業後、一度請いを
断ってしばらくしてから入
団したのですが、消防団活動がこ
んなに楽しいなんて思いません
で、さまざまな職種や年齢の人たち
と知り合えることが何より楽し
みで、もっと早く入団しておけばと後
悔しています。夜中に召集されて
も、うちの団はすぐに全員揃って
です。みんな自分のために熱い想
いを持っていらっしゃることで実感
しています。

操法大会に寸劇、ラッパ隊と どんどんチャレンジしていきたいですね



五ヶ瀬町消防団 本部
佐藤 由美さん 29歳
(消防団歴7年)

五 ケ瀬町女性消防団の第一
生です。まずは地域の職員
をいうことで、私を含めて3名が
女性消防団員として入団しまし
た。私は女性消防団員の任務は、主に
学校や地域を訪れての救命講習で
す。五ヶ瀬町は高齢者が多いので
が、講習に参加された方に、これ
で孫に何があつたときも助けであ
げられると感謝の言葉をいただいた
りして、とてもやりがいがあるん
です。

物心ついた頃から憧れ 若い人にどんどん入団してほしい



延岡市消防団 第1支団
南浦瀬2分団 第56部
知久 すみれさん 29歳
(消防団歴9年)

消 消防は父が部長などを務め
ていた頃から身近な存在、子どもが
ら「かっこいいな」と、思いもな
げな時代から団員として活動して
います。一番の楽しみは消防にない
地域で、万が一の緊急時にできる
の分団も高め若い力不足してい
るので、若い人にはもっと入り
てほしいですね。大変なことあり
ますが、それ上回るやりがいと業
しみがあります。

地域のヒーローになれる消防団に 誇りを感じています



綾町消防団 第五部
松崎 将吾さん 29歳
(消防団歴3年)

職 場が總町内になったのを機
に入団しました。団員の皆
さん気ですが、訓練や活動の時は真
剣そのもので、自分に合っていたま
うです。さまざまな年齢や立場の人
がいらしゃいますが、地域の行事
や会合に積極的に参加していたの
で団員に知り合いも多々、すんなり
となじまっています。地域のために行
動できることに喜びを感じながら素
直に活動しています。

地域とのつながりが何よりの財産 仕事や普段の生活にも変化あり



諸塚村消防団 第四部
甲斐 幸一さん 34歳
(消防団歴14年)

入 団したのは将来家を継ぐ
ために東京から帰って来た
20歳の時。私たちが団員では年々
火床検査といって各戸を訪問して家
の危険箇所などを見て回ります。同
じ地域にいながら接する機会が多
かつた方が、地域とのつながりが
できたのが、私にとって何よりの財
産。入団しただけで、仕事でも普段
の生活でも、まわりのことを考え
、思いやりを持ってやるようになった感
じがあります。

バイク隊隊長&ラッパ隊で活動! 皆が1つのことに懸命になれるのが魅力



えびの市消防団
第三分団 第一部
大門 哲也さん 34歳
(消防団歴10年)

も とても地域の活動に積極
に参画していたことへ誇
りがあり、速いなく入団しました。
今はえびの市消防団の防災バイク
隊「レッドホブ」の隊長を務め
ラッパ隊に入っています。社外人
になること以外で、一生懸命にな
ることってなかなかないですよ。
消防団では、消火活動もそうで
が、皆が力を合わせて1つのこと
に懸命になれる。消防団にはそんな
魅力があります。



消防団の事がもっと分かる!
消防団だより「DANI!!」の
バックナンバーはこちら。
動画も閲覧できます!



お問い合わせ
〇〇町〇〇課 〇〇〇〇〇〇

